

平成 30 年度 日本水産工学会学術講演会プログラム

(平成 30 年 5 月 12 日 (土) ~5 月 14 日 (月))

会 場

国立大学法人 東京海洋大学 〒108-8477 東京都港区港南 4-5-7

一般講演 白鷹館 (第 1 会場 : 1 階講義室、第 2 会場 : 2 階多目的ホール)

総会 白鷹館 1 階講義室

理事・評議員会 白鷹館 2 階多目的ホール

懇親会 大学会館 1 階食堂ホール

シンポジウム 白鷹館 1 階講義室

日 程

5 月 12 日 (土)

12:00~13:00 理事・評議員会

13:15~15:45 一般講演 (第 1 会場)、学生講演 (第 2 会場)

16:00~17:00 総会

17:05~17:25 企画委員会

17:25~17:40 理事会

18:00~20:00 懇親会

5 月 13 日 (日)

10:00~12:00 一般講演 (第 1 会場、第 2 会場)

13:30~14:45 学会賞授与式および学会賞受賞者講演

14:45~16:15 一般講演 (第 1 会場)

5 月 13 日 (日)

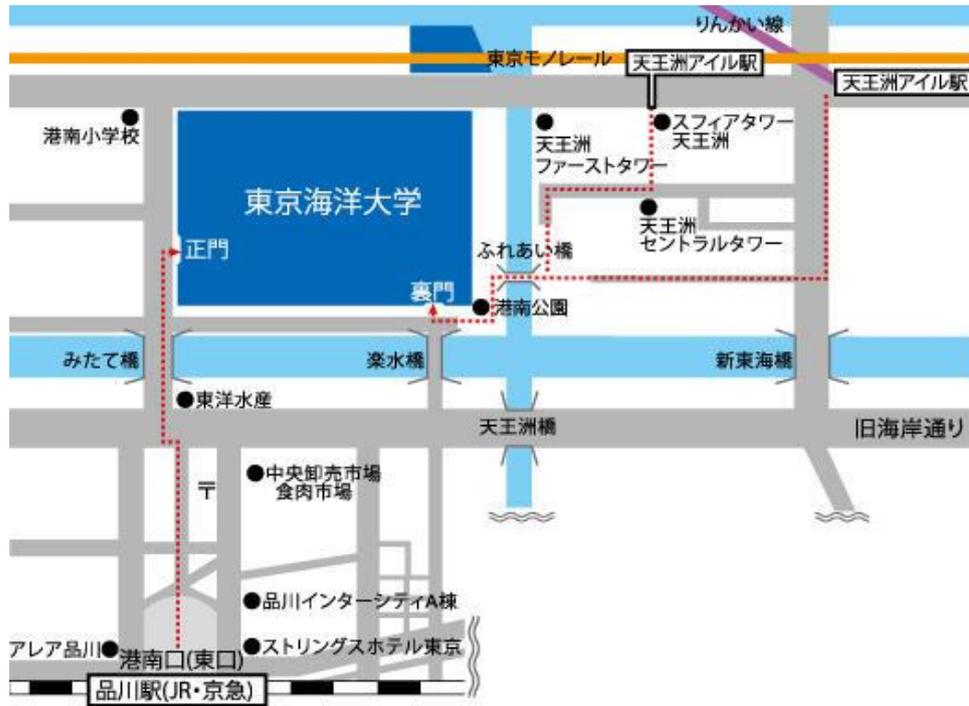
10:00~17:30 シンポジウム

なお、事前に登録した学生 (学部生、大学院生、高等専門学校生など) による、一般講演 (学生講演) の中から審査により、優秀な学生を学生優秀賞として表彰します。

※一般講演、学生講演の発表に関する注意とお願い

- ・講演は 1 件当たり 15 分 (質疑応答含む) とし、PC プロジェクターを利用した講演とする。
- ・各会場には PC を用意します。公演時間は発表 12 分、質疑 3 分の計 15 分 (交代の時間も含む) です。10 分で予鈴 1 回、定刻 12 分で予鈴 2 回を鳴らします。その後は 1 分経過毎に鈴を鳴らします。
- ・活発な質疑応答を望みますが、発表時間の制約もあり、さらなる質疑は発表後、もしくは懇親会場などにて個々に行っていただきますようお願い致します。

アクセスマップ



東京海洋大学品川キャンパス配置図



平成 30 年度日本水産工学会学術講演会 講演プログラム

第 1 会場

5月12日(土) 午後

座長 綿貫 啓 ((株) アルファ水工コンサルタンツ)

13:15 101 北海道太平洋沿岸域の漁港における近年の海象状況の特性について

本間大輔, 一政悟 (国交省北海道開発局農業水産部水産課),
阿部島直哉, ○小竹元己, 佐藤寿彦 (株式会社クマシロシステム設計技術解析部)

13:30 102 ベネチアモーゼ計画と我が国における海底設置型(フラップ式)防潮堤

(岩手県大船渡漁港細浦地区) の実施

阿部幸樹 (岩手県漁港漁村課), ○仲保京一 (日立造船株),
不動雅之 (水産庁整備課), 長野章 ((一社) 全日本漁港建設協会)

13:45 103 海底設置型(フラップ式)防潮堤防の計画と可能性

阿部幸樹 (岩手県漁港漁村課), 不動雅之 (水産庁整備課),
仲保京一 (日立造船株) ○長野章 ((一社) 全日本漁港建設協会)

14:00 104 効果的な漁村情報発信のためのポータルサイト構築

中西豪 (国交省離島振興課), 安田大樹 (水産庁防災漁村課), ○長野晋平 (TS ビジュアルリサーチ)

田原正之, 近藤愛子, 長野章 ((一社) 全日本漁港建設協会)

14:15 105 漁村情報発信ポータルサイト構築のための都市住民が期待する漁村情報について

中西豪 (国交省離島振興課), 安田大樹 (水産庁防災漁村課), 長野晋平 (TS ビジュアルリサーチ)

田原正之, 近藤愛子, ○長野章 ((一社) 全日本漁港建設協会)

座長 瀬戸 雅文 (福井県立大学)

14:30 106 秒分光映像 (ハイパースペクトル画像) を利用した韓国沿岸における磯焼け分布海域の把握

○Back Sangho, Lim Donghyeon, Hwang Seondo, Oh Taegeon, (韓国水産資源管理公団)
Kim Seonghak (Geostory)

14:45 107 漁港内に設置したネット入り貝殻礁へのマナマコの種苗放流

○綿貫啓, 牧野不二雄 ((株)アルファ水工コンサルタンツ), 久慈明宏, 山田一徳,
馬内悟 (久慈市産業経済部)

15:00 108 若狭湾に展開するフグ養殖業の経営工学的研究

○大竹臣哉, 波左間晃樹 (福井県立大学)

15:15 109 トラフグ身欠きの天然と養殖の鑑別に関する基礎的検討

○中村誠 (水産大学校水産学研究科), 椎木友朗 (水産大学校海洋機械工学科),
川口健太郎 ((株) 西島製作所), 高岡佑多, 渡邊敏晃 (水産大学校水産学研究科)

15:30 110 雑種を含めたトラフグ属の体模様再現モデルの構築

○石田武志 (水産大学校海洋機械工学科), 田所大樹 (水産大学校研究科),
田中勇樹 (水産大学校海洋機械工学科)

5月13日(日)午前

座長 須藤 賢哉 ((国研) 土木研究所 寒地土木研究所)

10:00 111 多海域における貝殻増殖基質に生息する動物群に関する検証

○穴口 裕司, 加村 聡, 伊禮 宙未 (海洋建設(株)), 田上英明 (水産大学校), 伊藤靖 (漁村総研)

10:15 112 非定常流場におけるテーパ円柱の上下混合促進機構

○瀬戸 雅文 (福井県立大学), 南部 元樹 (海上保安庁), 河端美香 (福井村田製作所)

10:30 113 不規則波による最大流速波形の算定手法

○川俣茂 (水産工学研究所)

10:45 114 バイオテレメトリーによるウスメバルの摂餌行動の把握

○伊藤靖, 當舎親典 (一般財団法人 漁港漁場漁村総合研究所), 青木智也 (株式会社 シャトー海洋調査)

座長 長野 章 ((一社) 全日本漁港建設協会)

11:00 115 炭素・窒素安定同位体比を用いた年齢別のウスメバル餌料の解析

○當舎親典, 伊藤靖 (一般財団法人 漁港漁場漁村総合研究所) 青木智也 (株式会社 シャトー海洋調査)

11:15 116 ウスメバルの耳石の酸素安定同位体比による経験水温の推定

○當舎親典, 伊藤靖 (一般財団法人 漁港漁場漁村総合研究所) 青木智也 (株式会社 シャトー海洋調査)

11:30 117 壱岐周辺海域に設置された人工魚礁の効果範囲の推定

○井上誠章, 南部亮元, 桑原久実 (水産工学研究所), 桑本淳二 (水産土木建設技術センター)

金岩稔 (三重大院生資源)

11:45 118 防波堤マウンド被覆の津波強化対策への提案—マウンド被覆ブロックに懸かる透過圧の評価—

山本正昭 (株式会社 センク 21)

12:00~13:30 休憩

5月13日(日)午後

座長 伊藤 靖 (一般財団法人 漁港漁場漁村総合研究所)

14:45 119 夏季韓国南海沿岸に出現する水塊の特性

○李 文沃, 李 守貨, 金 鍾奎 (全南大学校)

15:00 120 海衆林楚の配置による流れの特性

○金 溶洵, 金 鍾圭, 李 文沃(大韓民國全南大学校海洋技術学部),

金 鉉周(大韓民國船舶海洋プラント研究所)

15:15 121 円形度を用いた礫質の形状評価の試みと底質硬度への応用

○梶原直人 (瀬戸内海区水産研究所生産環境部)

15:30 122 沖合域の人工魚礁構造物近傍での水質把握の試み

○須藤 賢哉, 伊藤 敏朗 ((国研)土木研究所寒地土木研究所),

大橋正臣 (東海大学生物学部海洋生物学科), 中村知道, 佐野朝昭 ((株)アルファ水工コンサルタンツ)

15:45 123 ドローンを用いた干潟漁場のホトトギスガイの分布把握

○市村康 (日本ミクニヤ(株)営業企画事業部), 藤田孝康 (日本ミクニヤ(株)事業本部),

大塚真司 (日本ミクニヤ(株)大阪支店), 中村明日人, 佐野雄一 (日本ミクニヤ(株)九州支店)

16:00 124 鶴川河口沿岸域における冬季の基礎生産

○松岡央明, 岩倉祐二, 吉田英雄 ((株)アルファ水工コンサルタンツ),

大橋正臣 (東海大学生物学部海洋生物学科), 須藤賢哉 ((国研)土木研究所 寒地土木研究所)

第2会場

5月12日(土)午後

座長 江幡 恵吾 (鹿児島大学水産学部)

13:15 201 NORPAC ネット網口前の流場にスイベルが与える影響

○城崎亮佑, 井高洋輔 (北海道大学大学院水産科学院),

木村暢夫, 高橋勇樹, 前川和義, 安間洋樹 (北海道大学大学院水産科学研究院)

13:30 202 形状と大きさが異なるトロール漁具部品の抵抗

○鄭程摸, 松下吉樹 (長崎大学水産・環境科学総合研究科), 梶川和武 (水産大学校),

酒井猛 (西海区水産研究所) 高橋勇樹 (北海道大学大学院水産科学研究院)

13:45 203 ICT と超音波テレメトリーを用いたホタテガイ養殖モニタリングシステムの開発

○浅井咲樹, 宮本佳則, 内田圭一 (東京海洋大学)

吉田達, 森恭子 (青森県産業技術センター水産総合研究所), 笹倉豊喜 (フュージョン (有))

14:00 204 船底に取り付けたソナー周辺の流場の可視化

○羽田野真平 (北海道大学大学院水産科学院), 三好潤 (水産研究・教育機構水産工学研究所),

前川和義 木村暢夫 (北海道大学大学院水産科学研究院)

14:15 205 体模様画像を用いたトラフグ属の種判別モデルの検討

○田所大樹 (水産大学校研究科), 石田武志 (水産大学校海洋機械工学科)

座長 松下 吉樹 (長崎大学水産・環境科学総合研究科)

14:30 206 Analytical and experimental study on drag of square model cage

○Sanggyu Park, Jinxin Zhou (東京大学大学院工学系研究科), Junbo Zhang (上海海洋大学),

Takero Yoshida, Jialin Han, Daisuke Kitazawa (東京大学生産技術研究所)

14:45 207 The Study on Effect of the Fish Cages on the Flow Based on the Field Survey in Miho Bay

○Jinxin Zhou, Sanggyu Park (東京大学大学院工学系研究科),

Takero Yoshida (東京大学生産技術研究所), Junbo Zhang (上海海洋大学)

Jialin Han, Daisuke Kitazawa (東京大学生産技術研究所)

15:00 208 エゾアワビ人工種苗の波浪耐性と寄り藻捕捉能力

○中谷 鷹 (福井県立大学大学院), 瀬戸雅文 (福井県立大学海洋生物資源学部),

巻口範人 ((公社)北海道栽培漁業振興公社)

15:15 209 画像による養魚体測システムの精度向上: 多眼ステレオ計測技術の検証

○田中達也 (北海道大学大学院水産科学院), 永井健策 (北海道大学大学院水産科学院),

米山和良, 高木力 (北海道大学大学院水産科学研究院), 鳥澤真介 (近畿大学農学部),

山口武治, 浅海茂 (古野電気株式会社)

5月13日(日)午前

座長 川崎 潤二 (水産研究・教育機構 水産大学校)

10:15 210 水中ビデオカメラを用いた底延縄漁具周辺に出現した魚の行動観察

○小島隆人, 沖山祐大, 金井幾吹, 牧口祐也 (日大生物資源), 森有平 (㈱ヤマリア)

10:30 211 イワシ棒受網漁業の水揚げ物の選別作業時間に影響を与える要因

○吉田侑矢, 江幡恵吾 (鹿児島大学水産学部)

10:45 212 マイクロプラスチックに対するニューズトンネットの網目選択性について

○東海正，内田圭一（東京海洋大学）

11:00 213 表計算ソフトを用いた底びき網のモデル化

○高橋勇樹（北海道大学大学院水産科学研究院），

藤田薫，山崎慎太郎，越智洋介（水産研究・教育機構 水産工学研究所）

座 長 小島 隆人（日大生物資源）

11:15 214 多周波計量魚群探知機によるアカイカ計測の可能性

○阿保純一，安部幸樹（水産研究・教育機構水産工学研究所）

11:30 215 漁業就業研修における技術習得について

○川崎潤二，酒井健一，下川伸也，（水産研究・教育機構 水産大学校），

三好潤，高橋竜三（水産研究・教育機構 水産工学研究所）

11:45 216 漁業用サロペットと一体化した漁業用軽労化支援スーツの試作

○高橋 秀行（水産工学研究所），田中孝之（北大），峰江卓也，鈴木善人（株式会社スマートサポート）

平成 30 年度日本水産工学会春季シンポジウム
「漁港漁場分野における ICT 活用の現状と技術開発・導入の課題」

主 催： 日本水産工学会

共 催： 東京海洋大学 先端科学技術研究センター（漁業地域再生プロジェクト）

参加費： 無料

- 10:00～10:05 開会挨拶 大竹臣哉（日本水産工学会会長）
- 10:05～10:10 趣旨説明 中泉昌光（東京海洋大）
- 10:10～10:20 漁港漁場整備事業の推進における ICT 活用の方向性 不動雅之（水産庁漁港漁場整備部整備課）
- 10:20～10:40 漁港情報クラウドシステムと施設の管理運営
橋本牧（全国漁港漁場協会），見上敏文（アルファ水工コンサルタンツ）
- 10:40～11:00 スマートフォンを活用した漁港施設点検システムの構築と運用
奥野正洋（漁港漁場漁村総合研究所），長野晋平（TS ビジュアルリサーチ），田原正之・
長野章（全日本漁港建設協会），不動雅之・野神巧一（水産庁整備課）
- 11:00～11:20 漁港施設等の維持管理における UAV 活用の方向性
佐野朝昭・金井紀暁・綿貫啓（アルファ水工コンサルタンツ）
- 11:20～11:40 音響機器を用いた水中可視化技術の水産分野への応用
古殿太郎・高島創太郎・西林健一郎・大野敦生・峯岸宣遠（いであ株式会社 国土環境研究所）
- 11:40～12:00 無線 LAN ボートを用いた栈橋上部工下面の点検・診断システムとその運用
小笠原哲也・水野剣一・本山昇・酒井貴洋・杉本英樹（五洋建設(株)技術研究所）
- 13:00～13:20 漁港港湾工事における作業船位置・回航・気象情報システムの構築と運用
長野晋平・和田雅昭（公立はこだて未来大学），田中修一（長崎県港湾漁港建設業協会），
中田稔（長崎県漁場漁港課），長野章（全日本漁港建設協会）
- 13:20～13:40 漁港漁場の管理運営における ICT 活用（国内外事例の分析より）
中泉昌光（東京海洋大），木村智也・安藤亘（水産土木建設技術センター）
- 13:40～14:30 総合討論（座長：中泉（東京海洋大学））
- 14:40～15:00 石材投入施工管理システムを活用したマウンド礁築造技術
加藤直幸・城戸誠司（東洋建設(株)），幸田有史（(株)トマック）
- 15:00～15:20 GPS データロガー搭載漁船の操業記録からみた人工魚礁の利用実態（長崎県沿岸域での事例）
桑本淳二・石丸聡・吉原聖（水産土木建設技術センター長崎支所）
- 15:20～15:40 漁業者ニーズに対応した漁場環境情報の一元化システムの自主開発と運用
高坂祐樹・扇田いずみ（青森産技水産総合研究所），清藤真樹（青森県むつ水産事務所），
田中淳也（青森県水産振興課）
- 15:50～16:10 漁場施設情報データベース（漁場 GIS）の活用方策
伊藤靖・三浦浩（漁港漁場漁村総合研究所），不動雅之・野神巧一（水産庁整備課）
- 16:10～16:30 漁業者が活用しているマナマコ資源管理支援システムとその展開
佐野稔（北海道立総合研究機構稚内水産試験場）
- 16:30～16:50 ドローンを用いた広域藻場分布の把握手法 佐藤允昭・井上誠章（水産工学研究所）
- 16:50～17:30 総合討論（座長：安藤（水産土木建設技術センター））
- 17:30 閉会挨拶 東海正（東京海洋大学先端科学技術研究センター長）